

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
実務基礎能力論 I B	適性検査の傾向と対策	藤井 大輔	1 年次後期
講義の目的	近年、多くの企業の就職試験に適性検査が導入されている。適性検査は能力適性検査と性格適性検査の2つから構成されており、能力適性検査では主に国語（言語分野）や数学（非言語分野）などの実務に必要な能力が問われる。本講義では、社会人になった時に求められる実務をこなせる基礎能力の習得を第一の目的としており、主に非言語分野についての習熟を目指す。		
到達目標	計算能力の正確さとスピードの向上、文字変数を利用した解法の習熟等、適性検査に必要なスキルのブラッシュアップを目標とする。		
内容講義	SPI3、GAB などの問題及びこれらの問題に必要な数学について演習を行う。数多くの問題を解くことで、その解法の理解が進み、解答にかかる時間が短縮される。		
講義スケジュール	第1講	後期ガイダンス、計算の復習	
	第2講	表の読み取り：基本問題・発展問題	
	第3講	集合関係：基本問題・発展問題	
	第4講	代金の精算：基本問題・発展問題	
	第5講	命題と論理：基本問題・発展問題	
	第6講	通過算：基本問題・発展問題	
	第7講	動く歩道の計算：基本問題・発展問題	
	第8講	小テストと解説	
	第9講	年齢算：基本問題・発展問題	
	第10講	鶴亀算：基本問題・発展問題	
	第11講	比率の問題：基本問題・発展問題	
	第12講	数値算出の長文：基本問題・発展問題	
	第13講	推論（論理）：基本問題・発展問題	
	第14講	推論（順序関係・位置関係）：基本問題・発展問題	
	第15講	推論（数の推論）：基本問題・発展問題	
方法指導	毎回、講義スケジュールに沿ったテーマで演習問題を実施し、解答およびその解説を行う。また適宜、テキスト以外の資料を配付する。		
授業外学習	授業前学習は、これまでに学んできた数学の知見をおさらいしたうえで、この授業に備える。授業後学習は、授業内で解いた演習問題をあらためて解き、解法・解説とともに自分で他の問題に取り組んで、解法の定着を図る。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）50%、平常点（授業内テスト等）50%で総合的に評価する。なお、コース分けによる成績結果の公平性の担保のため、単位取得時の評価はコースにより異なる。		
ステキ	初回授業で指示する。		
書籍参考	初回授業で指示する。		
事項記	実務基礎能力論 A（前期）の本試験の成績により、I、II、III、IVのコース分けを行う。コース分けの詳細は、第1講前に掲示する。		